



2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2025年11月13日

上場会社名 株式会社 安楽亭

上場取引所 東

コード番号 7562 URL <http://www.anrakutei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳 先

問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部 次長 (氏名) 町田 英之

TEL 048-859-0555

半期報告書提出予定日 2025年11月14日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	15,240	1.7	536	28.3	475	34.1	310	41.2
2025年3月期中間期	14,984	1.2	748	32.2	720	38.2	527	3.2

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 332百万円 (35.3%) 2025年3月期中間期 513百万円 (3.6%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	67.22	—
2025年3月期中間期	114.26	—

(注) 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり中間純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	24,564	7,689	31.3
2025年3月期	24,253	7,427	30.6

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 7,689百万円 2025年3月期 7,427百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期(予想)			—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。2026年3月期(予想)の期末配当金及び年間配当金につきましては、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2026年3月期(予想)の期末配当金及び年間配当金は30円00銭となります。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,248	0.3	1,287	11.8	1,200	12.6	793	34.6	171.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。2026年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	4,622,868 株	2025年3月期	4,622,868 株
期末自己株式数	2026年3月期中間期	4,692 株	2025年3月期	4,434 株
期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	4,618,228 株	2025年3月期中間期	4,618,616 株

(注) 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数 (自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数 (中間期) を算定しております。

第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(中間決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2025年11月28日に証券アナリスト及び機関投資家向けの中間決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、物価上昇による消費者マインドの下振れリスクに加え、中東地域の紛争や米国の通商政策等、国際情勢に対する懸念が強まり、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

外食産業におきましても、物価高が沈静化する兆しが見えないなか消費者の節約意識はさらに強まっており、また、原材料価格やエネルギーコストの高騰、人手不足及び人件費上昇等により厳しい経営環境が継続しております。

このような環境において、当社グループは、経営理念である「食を通じて地域社会の豊かな生活文化の向上に貢献する」に基づき、お客様の基本ニーズである「安全・安心」に徹底してこだわった「自然肉100%」の商品提供を堅持するとともに、さらなる品質向上のため、日々努力を続けてまいりました。近年、コロナ禍や物価高を経て消費者の意識・行動が大きく変化するなか、お客様に選んでいただける価値ある店づくりのため、コストパフォーマンスや体験価値を追求した販売戦略に力を入れ、新商品の開発や既存メニューのブラッシュアップ等に取り組んでおります。

店舗の展開については、当中間期において不採算店舗の整理を進め、グループ計9店舗を閉店する一方、引き続きグループ内での業態見直しによる活性化、高収益化を進めており、当中間期においても、焼肉店(安楽亭)からステーキ店(フォルクス)やしゃぶしゃぶ店(どん亭)への業態転換を4店舗にて着手しております。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績につきましては、売上高152億40百万円(対前年同期比1.7%増)、営業利益5億36百万円(対前年同期比28.3%減)、経常利益4億75百万円(対前年同期比34.1%減)、親会社株主に帰属する中間純利益3億10百万円(対前年同期比41.2%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 安楽亭・七輪房業態

安楽亭・七輪房業態の当中間連結会計期間末の店舗数は153店舗であります。内訳は直営108店舗、暖簾11店舗、F C 34店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「安楽亭」では、お客様が気軽に来店し焼肉を楽しんでいただけるよう、「肉井&焼肉セット」「ビビンバ&焼肉セット」等の「&(アンド)焼肉シリーズ」の販売や「昼も夜もごはん・スープおかわり無料」のサービス提供等、コストパフォーマンスの高いメニューやサービスを拡充しております。さらに、「家族や仲間を楽しむ焼肉」を充実させるご提案としてメニューをリニューアルし、新しい味付焼肉「旨辛赤ダレ焼肉」「レモンペッパー焼肉」や、食後の満足感を高める多彩なミニデザート「ぼちドルチェ」シリーズを販売開始しております。

「七輪房」においては、銘柄和牛「松阪牛特選カルビ」「田村牛カルビ」の販売、「黒毛和牛希少部位」の一部店舗での販売等、品質と美味しさの価値を実感いただける施策を積極的に展開したほか、「夏の冷麺フェア」等季節限定メニューの企画も実施し、来店促進を図りました。

以上の結果、安楽亭・七輪房業態の当中間連結会計期間の売上高は55億27百万円(対前年同期比2.9%減)となり、セグメント利益(営業利益)は37百万円(対前年同期比87.4%減)となりました。

② アークミール業態

アークミール業態の当中間連結会計期間末の店舗数は135店舗であります(安楽亭から業態転換準備中の4店舗を含む)。内訳は直営133店舗、F C 2店舗であります。アークミール業態には、「ステーキのどん」、「しゃぶしゃぶどん亭」、「フォルクス(ステーキ)」を含んでおります。

販売促進及び商品開発につきましては、ステーキのどんの「牛たっぷりジューシーマウンテン」、しゃぶしゃぶどん亭の「復刻ランチ かつとじ鍋膳 おろしかつ煮鍋膳」、フォルクスの「特選ハラミステーキ」等、お得感あるいはプレミアム感を打ち出した多彩なメニュー施策によって来店促進を図りました。また、D X推進の取り組みとして、各業態の店舗へテーブルオーダータブレットや配膳ロボット導入を進め(配膳ロボットはしゃぶしゃぶどん亭のみ)、お客様サービスの向上とオペレーション効率化を図っております。

以上の結果、アークミール業態の当中間連結会計期間の売上高は94億60百万円(対前年同期比4.2%増)となり、セグメント利益(営業利益)は6億83百万円(対前年同期比8.3%増)となりました。

③ その他業態

その他業態の当中間連結会計期間末の店舗数は8店舗であります。内訳は直営6店舗、F C 2店舗であります。なお、その他業態には、「からくに屋(焼肉)」、「花炎亭(焼肉)」、「上海菜館(中華)」、「カフェ

ビーンズ（喫茶）」、「安楽亭ベトナム（焼肉）」を含んでおります。

その他業態の当中間連結会計期間の売上高は2億53百万円（対前年同期比22.1%増）となり、セグメント損失（営業損失）は10百万円（前年同期はセグメント利益5百万円）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

① 財政状態の状況

当中間連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ3億10百万円増加し、245億64百万円となりました。これは、有形固定資産の増加、商品及び製品の増加等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ48百万円増加し、168億74百万円となりました。これは、社債の増加等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ2億61百万円増加し、76億89百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する中間純利益の計上等が要因です。

② キャッシュフローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ、1億1百万円減少し、70億88百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益の計上5億36百万円、減価償却費3億81百万円等の収入、棚卸資産の増加額1億98百万円等の支出により5億45百万円の収入となりました。前年同期は3億43百万円の収入でありました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出3億15百万円、無形固定資産の取得による支出69百万円等により3億63百万円の支出となりました。前年同期は2億5百万円の支出でありました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の発行による収入4億86百万円、長期借入金の返済による支出7億9百万円等により2億80百万円の支出となりました。前年同期は15百万円の収入でありました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2025年5月14日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,191,117	7,089,439
売掛金	1,382,581	1,151,935
商品及び製品	752,787	940,847
仕掛品	8,472	15,162
原材料及び貯蔵品	964,971	968,316
前払費用	321,235	351,175
その他	40,801	143,230
貸倒引当金	△2,430	△1,830
流動資産合計	10,659,537	10,658,277
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,709,337	2,933,745
機械装置及び運搬具(純額)	46,225	43,094
工具、器具及び備品(純額)	543,912	651,357
土地	6,068,882	6,068,882
リース資産(純額)	106,948	129,863
建設仮勘定	6,864	34,894
有形固定資産合計	9,482,170	9,861,839
無形固定資産	588,891	620,267
投資その他の資産		
投資有価証券	185,860	213,635
長期前払費用	54,580	47,523
繰延税金資産	345,743	241,682
敷金及び保証金	2,932,990	2,903,057
その他	27,443	27,453
貸倒引当金	△23,313	△23,313
投資その他の資産合計	3,523,305	3,410,038
固定資産合計	13,594,367	13,892,145
繰延資産		
社債発行費	—	13,689
繰延資産合計	—	13,689
資産合計	24,253,904	24,564,113

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,120,355	942,709
短期借入金	1,934,000	2,050,000
1年内返済予定の長期借入金	1,645,057	1,627,937
リース債務	42,043	48,848
割賦未払金	360,271	436,092
未払金	399,232	421,603
設備関係未払金	64,277	62,756
未払費用	844,004	784,359
未払法人税等	199,107	163,837
未払消費税等	163,672	178,010
賞与引当金	134,000	121,010
店舗閉鎖損失引当金	—	19,441
資産除去債務	—	28,750
その他	412,612	365,719
流動負債合計	7,318,635	7,251,076
固定負債		
社債	—	500,000
長期借入金	7,401,769	6,809,775
リース債務	141,498	157,337
長期割賦未払金	733,526	877,285
繰延税金負債	105,886	105,574
役員退職慰労引当金	168,365	174,839
退職給付に係る負債	392,632	390,127
資産除去債務	342,825	342,874
その他	221,500	266,105
固定負債合計	9,508,004	9,623,920
負債合計	16,826,639	16,874,996
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,790,461	3,790,461
資本剰余金	1,166,680	1,166,680
利益剰余金	2,418,618	2,659,789
自己株式	△13,269	△14,181
株主資本合計	7,362,492	7,602,749
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,569	76,797
為替換算調整勘定	12,892	8,746
退職給付に係る調整累計額	1,311	823
その他の包括利益累計額合計	64,773	86,366
純資産合計	7,427,265	7,689,116
負債純資産合計	24,253,904	24,564,113

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	14,984,955	15,240,895
売上原価	5,577,462	5,855,237
売上総利益	9,407,493	9,385,658
販売費及び一般管理費	8,659,114	8,849,177
営業利益	748,379	536,481
営業外収益		
受取利息	963	4,175
受取配当金	2,294	2,645
受取地代家賃	26,468	26,520
その他	21,142	18,295
営業外収益合計	50,868	51,636
営業外費用		
支払利息	65,832	100,645
支払手数料	3,329	1,000
賃貸収入原価	5,975	6,148
その他	3,328	5,061
営業外費用合計	78,465	112,855
経常利益	720,782	475,262
特別利益		
固定資産売却益	2,427	363
受取補償金	57,000	150,000
特別利益合計	59,427	150,363
特別損失		
固定資産除却損	10,745	11,659
減損損失	—	30,979
賃貸借契約解約損	14,601	46,985
特別損失合計	25,346	89,625
税金等調整前中間純利益	754,862	536,000
法人税、住民税及び事業税	158,553	123,104
法人税等調整額	68,583	102,449
法人税等合計	227,137	225,553
中間純利益	527,725	310,446
親会社株主に帰属する中間純利益	527,725	310,446

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	527,725	310,446
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,981	26,228
為替換算調整勘定	△2,912	△4,146
退職給付に係る調整額	△426	△488
その他の包括利益合計	△14,320	21,593
中間包括利益	513,405	332,040
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	513,405	332,040

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	754,862	536,000
減価償却費	361,701	381,989
減損損失	—	30,979
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△600	△600
賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,990	△12,990
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,493	6,473
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△567	19,441
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△5,053	△3,239
受取利息及び受取配当金	△3,258	△6,820
支払利息	65,832	100,645
為替差損益(△は益)	△419	1,560
固定資産売却損益(△は益)	△2,427	△363
受取補償金	△57,000	△150,000
固定資産除却損	10,745	11,659
賃貸借契約解約損	14,601	46,985
売上債権の増減額(△は増加)	287,364	230,646
棚卸資産の増減額(△は増加)	△237,865	△198,095
前渡金の増減額(△は増加)	△6,366	△354
仕入債務の増減額(△は減少)	△213,269	△177,645
未払金の増減額(△は減少)	50,102	2,623
未払消費税等の増減額(△は減少)	△194,643	14,337
未払費用の増減額(△は減少)	△57,966	△65,213
預り金の増減額(△は減少)	△76,360	△74,697
前受収益の増減額(△は減少)	4,311	1,526
その他	△60,878	20,459
小計	623,350	715,309
利息及び配当金の受取額	2,941	6,389
利息の支払額	△60,448	△95,399
補償金の受取額	57,000	75,000
店舗閉鎖に伴う支払額	△12,108	△14,672
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△267,442	△140,991
営業活動によるキャッシュ・フロー	343,292	545,635

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△246,139	△315,015
有形固定資産の売却による収入	15,359	363
無形固定資産の取得による支出	△59,301	△69,225
敷金及び保証金の差入による支出	△515	△10,327
敷金及び保証金の回収による収入	72,326	26,000
預り保証金の返還による支出	△2,500	△6,000
預り保証金の受入による収入	1,500	2,500
貸付金の回収による収入	2,611	177
投資その他の資産の増減額(△は増加)	10,901	8,045
投資活動によるキャッシュ・フロー	△205,757	△363,481
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	116,000
長期借入れによる収入	1,000,000	100,000
短期借入金の返済による支出	△100,000	—
長期借入金の返済による支出	△711,181	△709,114
社債の発行による収入	—	486,310
割賦債務の返済による支出	△158,572	△183,057
リース債務の返済による支出	△15,058	△20,683
自己株式の取得による支出	—	△912
配当金の支払額	—	△68,970
財務活動によるキャッシュ・フロー	15,187	△280,428
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,730	△3,404
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	150,992	△101,678
現金及び現金同等物の期首残高	4,959,748	7,190,101
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,110,740	7,088,422

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(株式分割)

当社は、2025年3月18日開催の取締役会において、2025年10月1日を効力発生日とする株式分割を行うことを決議しました。

1 株式分割の目的

当社普通株式の投資単位あたりの金額を引き下げ、投資家が投資しやすい環境を整えることで、株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図るものです。

2 株式分割の概要

(1) 分割の方法

2025年9月30日(火曜日)を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式を1株につき2株の割合をもって分割いたしました。

(2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	2,311,434株
今回の分割により増加する株式数	2,311,434株
株式分割後の発行済株式総数	4,622,868株
株式分割後の発行可能株式総数	8,000,000株(変更なし)

(3) 株式分割の日程

基準日公告日	2025年9月12日(金曜日)
基準日	2025年9月30日(火曜日)
効力発生日	2025年10月1日(水曜日)

(4) 1株当たり情報に及ぼす影響

株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりです。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
1株当たり中間純利益	114.26円	67.22円

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(5) その他

今回の株式分割に際して、資本金の額に変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	安楽亭・七輪房 業態	アークミール 業態	その他業態	計			
売上高							
顧客との契約 から生じる収 益	5,694,130	9,083,521	207,303	14,984,955	14,984,955	—	14,984,955
外部顧客への 売上高	5,694,130	9,083,521	207,303	14,984,955	14,984,955	—	14,984,955
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,694,130	9,083,521	207,303	14,984,955	14,984,955	—	14,984,955
セグメント利益	294,396	631,272	5,411	931,080	931,080	△182,700	748,379

(注) 1. セグメント利益の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	安楽亭・七輪房 業態	アークミール 業態	その他業態	計			
売上高							
顧客との契約 から生じる収 益	5,527,130	9,460,673	253,092	15,240,895	15,240,895	—	15,240,895
外部顧客への 売上高	5,527,130	9,460,673	253,092	15,240,895	15,240,895	—	15,240,895
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,527,130	9,460,673	253,092	15,240,895	15,240,895	—	15,240,895
セグメント利益 又は損失(△)	37,182	683,509	△10,277	710,414	710,414	△173,933	536,481

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「安楽亭・七輪房業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間においては30,979千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。